

国立大学法人 電気通信大学

2026年度 情報理工学域

学生募集要項

データ版の学生募集要項では出願が出来ません。
出願の際は必ず紙媒体の募集要項（冊子）を入手し、封入されている願書等により出願してください。

先端工学基礎課程 (夜間主コース)

「総合型選抜」
「特別編入学」

出願期間 2025年 11月 4日(火)～ 11月 6日(木)

選抜期日 2025年 11月18日(火):総合問題試験

2025年 11月19日(水):面接試験

合格発表 2025年 12月 3日(水)

先端工学基礎課程（夜間主コース）の総合型選抜，特別編入学に
関して変更等や不測の事態が生じた場合は，本学ウェブサイトで
お知らせします。

目次

封入物	(総合型選抜(夜間主コース))	入学志願票・写真票・受験票・振替払込受付証明書貼付票, 検定料払込用紙(金額欄に10,000円の印字があるもの5連)
	(特別編入学(夜間主コース))	入学志願票・写真票・受験票・振替払込受付証明書貼付票, 検定料払込用紙(金額欄に18,000円の印字があるもの5連)
	(共通)	志望理由書, あて名票, 出願書類送付用封筒, 受験票等送付用封筒

封入物に不足がある場合、入試課にご連絡ください。

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）と入学者選抜の基本方針

電気通信大学は、人類の持続的発展に貢献する知と技の創造と実践を目指し、社会とともに発展を続けてきました。科学・技術の発展を先導し、知識基盤社会を支える高度な人材を育成することは、大学の最も重要な使命です。

この使命のもと、社会的課題の解決に寄与し、人々が心豊かに生き甲斐を持って暮らせる社会の実現に貢献するためには、もの、エネルギー、情報の交換による、「人」、「自然」、「社会」、「人工物」の間の相互作用を正しく理解し、それを通じた価値の創造が不可欠です。

本学は、そのような価値の創造をもたらす科学・技術体系を、広義のコミュニケーションの視点から「総合コミュニケーション科学」と捉え、これに関する教育研究の世界拠点となることを目指します。そして本学は、そのための取り組みを通じて、21世紀の世界に貢献したいと考えます。

1. 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

【情報理工学域】

「総合コミュニケーション科学」の基盤となる情報、通信、電子、機械、ロボティクス、光科学、量子物性、基礎科学等の情報領域、理工領域はもとより、両者の融合による革新的学際領域において、新しい価値の創造に貢献することがますます期待されています。

電気通信大学では、時代の要請を踏まえ、学生自らが、成長にあわせて段階的・探究的に専門分野を選択し、高度な専門性と総合力を身につける学修者主体の教育を実施します。

情報、融合、理工の各領域において、基礎学力と倫理観を備え、国際性、応用力、実践力を伴う確かな専門基礎力と継続的学修能力を持ち、社会との関わりの中で大きく成長していくことのできる人材を育成します。その過程においては、科学的思考力、俯瞰力、倫理意識、論理的コミュニケーション能力等の涵養を大切にします。また、学士課程と修士課程（博士前期課程）の一貫性も教育課程の大きな特徴であり、学域における学びが、先端的な学問研究へと展開します。

このような教育方針に沿って、以下のような資質・能力・意欲を持った皆さんを、広く国内外から受入れます。

【情報理工学域・求める学生像】

「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる領域に不可欠な自然科学および数学に強い興味と探究心を持ち、その学修およびディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づく教育の実現のために必要な基礎学力と論理的思考力・判断力・表現力を有し、多様な人々と協働しながら主体的に学ぼうとする意志の強い皆さんを求めます。

情報、融合、理工、それぞれの領域において、修得した知識と技術を活用して広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲に溢れる人を歓迎します。

【I類（情報系）】

情報に関わる学問の基礎を広く学びます。情報を対象とする学問は多様であり、その領域は広範です。例えば情報それ自体を取り扱う学問には、情報の本質や実態を追究する分野、表現や加工、活用の技術や手法を開発する分野、また、情報の流通・収集・蓄積に関わる通信ネットワークの分野などがあり、それぞれが独立した学問として発展しています。

一方で情報に関わるすべての学問は相互に影響し合い、情報化社会を支えています。そのため次世代の情報化社会を先導する担い手には、一つの専門分野に軸足を置きつつハード・ソフトの両面を理解し、複数の専門分野にまたがる広い視野を持つことが求められます。I類では、情報に関わる分野全般に共通するコンピュータ、アルゴリズム、プログラムなどを学ぶとともに専門分野の基礎を身につけ、その後は「メディア情報学」、「経営・社会情報学」、「情報数理工学」、「コンピュータサイエンス」、「デザイン思考・データサイエンス」という教育プログラムのいずれかで、専門性を高めます。

【Ⅰ類（情報系）・求める学生像】

目まぐるしく変化する現代社会における情報形態の多様化、情報量の拡大といった環境の変遷に対応して、「人と人」、「人との」、「人と社会」のコミュニケーションの高度化が、これからの社会の発展に必要不可欠となっています。情報の生成から、収集、流通、蓄積、加工および活用までを総合的に扱う学問である「情報学」を学び、身につけ、次世代の情報化社会を支える技術の創成を担う科学者・技術者を目指そうとしている人を歓迎します。

【Ⅱ類（融合系）】

新しい科学技術やイノベーションの創出には、理学、情報学、工学、医学などの分野間の融合がとても重要です。

Ⅱ類では、電子情報・通信機器、計測機器、ロボットなどの産業応用をより強く意識したハードウェア技術および人工知能、データサイエンスを含めた制御、さらには情報通信システムや多様化するネットワークのセキュリティに関するソフトウェア技術について、5つの教育プログラム「セキュリティ情報学」、「情報通信工学」、「電子情報学」、「計測・制御システム」、「先端ロボティクス」で広く深く学ぶことができます。また、その過程では、俯瞰力、倫理観、社会性、国際性、論理的コミュニケーション能力を確立し、様々な分野への応用、実践が可能となる専門基礎力と継続的学修能力を涵養します。

【Ⅱ類（融合系）・求める学生像】

情報学と理工学の基礎をなす数学、理科および英語に興味と学力を有し、それらの学修をさらに深めていく意志を持つ人を求めます。また、情報学、理工学やそれらの融合に強い関心を持ち、それらの修得に必要な論理的コミュニケーション能力、主体性、独創性、目的達成力を持つ人を求めます。科学的思考力を支える好奇心、広い意味でのシステムづくりやものづくりへの関心、専門性を高める意志、将来の応用を支える倫理観、社会性を有することも重要です。理学、工学や情報学の基礎となる分野における国内外で開催される科学技術コンテスト等に参加や受賞した人を歓迎します。

【Ⅲ類（理工系）】

理工学の基盤となる物理学、化学などの自然科学や数学を基礎から体系的に学び、その主要な構成分野である「機械システム」、「電子工学」、「光工学」、「物理工学」、「化学生命工学」の中から学生自ら探究的に選択し各分野に進みます。専門教育では、講義だけでなく、演習や実験を通して高度な専門性と実践力・総合力を養います。

また、広く理工学分野の教養を育みながら、科学技術の発展と自然環境や国際社会との調和を実践できる倫理観および社会性・国際性を養います。その過程で、自身の考えを他者と共有するための論理的コミュニケーション能力も養います。

【Ⅲ類（理工系）・求める学生像】

理工学の基盤となる自然科学や数学に強い興味と探究心を持ち、その学修のために必要な基礎学力と論理的思考力を有し、主体的に学ぼうとする意志の強い人を求めます。また、読解力や文章力、口頭表現力など基本的なコミュニケーション能力を有することも重要です。自然環境や国際社会に関心が高く、広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲に溢れる人を歓迎します。

【先端工学基礎課程（夜間主コース）】

社会人および夜間の修学を必要とする人に対して「総合コミュニケーション科学」に関わる科学・技術に必要な専門教育の機会を提供するために、夜間主コースを設置しています。産業界における技術的課題を読み解き解決するために必要な基礎力および応用力を身につけた情報学や理工学の専門的職業人を育成します。

また、実務で必要となる技術者倫理や知財・特許管理を学ぶとともに、国際的に通用する論理的コミュニケーション能力の基礎を養います。

【先端工学基礎課程（夜間主コース）・求める学生像】

自然科学および数学に関する知識と技術の修得に努め、技術革新や産業構造の変化に対応しつつ広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる人を求めます。

《Ⅰ類（情報系）、Ⅱ類（融合系）、Ⅲ類（理工系）、先端工学基礎課程共通》

入学までの段階で修得が望ましい教科内容と水準

- 1) 数学は、基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を論理的に考察し数学的に処理する能力を有していること、特に、数学Ⅲまでの履修が望ましく、数学Ⅲまでの微積分の基礎知識を使って、様々な関数のグラフを描いたり、速度・加速度や簡単な図形の面積や体積を計算できること。さらに、複素数平面の基礎的事項を理解していること。
- 2) 理科は、出来るだけ多くの科目に興味を持ち、正しい自然観・宇宙観が育まれていること、特に、物理基礎、化学基礎に加えて物理、化学の履修が望ましく、物理の分野では、力学、電磁気学、熱、波動などに関連する現象を論理的かつ数理的に捉えてそれを説明でき、化学の分野では、化学結合の概念や物質の構造及び性質を理解し、化学の成果が日常生活の様々なところで役立っていることを認識し説明できること。
- 3) 情報は、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせて問題の発見・解決を行う能力を有していること、特に情報Ⅰで学ぶ基礎知識を理解しており、多様な問題に応用できること。さらに、目的に応じたモデルやアルゴリズムについて論理的に思考し、プログラミングによる問題解決を行えること。
- 4) 英語は、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を総合的に活用したコミュニケーション能力を有し、さらに、基本的な読解力、平易な英文を辞書なしで読み進んでいくことのできる語彙力・文法力や、あるトピックを一つのパラグラフ程度にまとめることのできる英作文能力を有していること。
- 5) 国語は、言葉を通して的確に理解し、論理的に考え、効果的に表現し伝え合う能力を有すること、特に、他者の考え方についての理解力、自分の考え方を相手に伝えられる文章力と口頭表現力を有すること。
- 6) 他の教科・科目については基礎レベルの知識・理解を有すること。

注：水準はあくまでも高等学校における学習の目安であり、履修の有無でもって合否判定するものではありません。

2. 入学者選抜の基本方針

入学者の受入れに際しては、高等学校段階における学びの成果・実績の評価も含め、多様な選抜を実施し、学力の三要素を踏まえた多面的・総合的な評価を推進します。一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、総合型選抜（夜間主コース）、私費外国人留学生選抜及び特別編入学の選抜方法に応じて、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト、総合問題試験、面接試験、基礎学力検査（CBT）、プレゼンテーション、調査書及びその他の提出書類のいずれかを組み合わせ、本学域での学修において求められる資質、能力、学力等について総合的に判断し、入学者の選抜を行います。

先端工学基礎課程においては、以下のとおり選抜を行います。

1) 総合型選抜（夜間主コース）

選抜は、総合問題試験、面接試験及び出願書類を総合して行います。

総合問題試験は、情報・理工学分野を学ぶために必要な理数的基礎知識や読解力、作文能力、論理的思考力等を問う問題を課し、面接試験では、志望動機、主体的な勉学意欲及び就業の状況等に関する質問や数学、理科の基礎学力についての試問を行い評価します。

2) 特別編入学（夜間主コース）

選抜は、総合問題試験、面接試験及び出願書類を総合して行います。

総合問題試験は、情報・理工学分野を学ぶために必要な理数的基礎知識や読解力、作文能力、論理的思考力等を問う問題を課します。面接試験では、志望動機、主体的な勉学意欲、自己表現能力、理工系の基礎学力を問う試問を行い評価します。

1. 情報理工学域 先端工学基礎課程（夜間主コース） 「総合型選抜」

1-1. 募集人員

	課 程	募 集 人 員
情報理工学域	先端工学基礎課程(夜間主コース)	30 名

先端工学基礎課程(夜間主コース)…授業は、平日の 17 時 50 分から 21 時までと、土曜日の 9 時から 17 時 45 分までに開講します(この時間帯のすべてに授業があるわけではありません)。昼間の 3 つの類の一部の授業を受けることもできます。

1-2. 出願資格

次のいずれかに該当する者で、出願要件を満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び 2026 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び 2026 年 3 月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の①から⑥までのいずれかに該当する者及び 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者(昭和 23 年文部省告示第 47 号)
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。) 及び 2026 年 3 月までに合格見込みの者で、2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者
 - ⑥ 個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で、2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

- (注1) 出願資格(3)の⑥により出願を希望する者は、あらかじめ入学資格審査を行いますので、**2025 年 9 月 12 日(金)**までに入試課に申請してください。
- (注2) 入学後の学修には、次の科目の内容を理解していることが必要不可欠であるので、志願者は、次の科目を履修していることを望みます。
・「数学Ⅲ」，「物理」，「化学」
- (注3) この選抜に出願する者は、「情報理工学域 学校推薦型選抜」及び「情報理工学域 先端工学基礎課程(夜間主コース)特別編入学」への**出願はできません**。
- (注4) 外国人留学生は先端工学基礎課程(夜間主コース)に出願できません(夜間主コースの場合、在留資格「留学」は取得できません。)

1-3. 出願要件

原則として夜間の修学を希望する週 25 時間以上の就業を行う社会人(正規・非正規等の雇用形態は問わない)を対象とし、高度コミュニケーション社会を支える科学技術体系「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる自然科学及び数学に関する知識と技術の修得・更新に努めようとする意欲のある者で、合格した場合に入学を確約できる者。

ただし、社会人以外でも、夜間の修学を必要とする者には出願を認めます。夜間の修学を必要とする理由としては、たとえば、経済的事情などが挙げられます。

1-4. 出願手続

(1) 出願期間

2025 年 11 月 4 日(火)から 11 月 6 日(木)まで (11 月 6 日(木)必着)

(注) 郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。

(2) 出願書類等

出願書類は、本募集要項添付の封筒に入れ、簡易書留郵便で郵送してください。

出願書類		注 意 事 項
1 2 3	※入学志願票 ※写真票 ※受験票	①本募集要項添付の用紙に必要事項を記入してください。 ②上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm)を写真票及び受験票の指定欄に貼ってください。なお、写真の補正は行わないでください。
4	※振替払込受付 証明書貼付票	金融機関の日附印が押印されている「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」を所定欄に貼ってください(6「入学検定料」を参照)。
5	調査書	① 出願資格(1)、(2)及び(3)②の者は、文部科学省で定めた様式により、出身高校等の学校長が作成し <u>厳封</u> してください(大学等を卒業した者についても、大学等ではなく出願資格となる <u>出身高等学校等の調査書</u> を提出してください)。 ② 出願資格(3)の⑤の者は、その合格(見込)成績証明書をもって調査書に代えます。なお、成績証明書に免除の科目がある者は、学校長が発行した当該科目についての成績証明書や、資格試験等の成績証明書等を併せて提出してください(<u>厳封</u> されていること)。 2025年度第2回高等学校卒業程度認定試験に出願した場合は、文部科学省から発行された同認定試験受験票の写しを提出してください。なお、この場合は、入学手続後に同認定試験の合格成績証明書を速やかに提出してください。 ③出願資格(3)⑥の者は、あらかじめ本学が発行した審査結果通知書をもって調査書に代えます。 ④①～③以外の者は、出願資格を有することの証明書及び成績証明書をもって調査書に代えます。 ⑤やむを得ない事情により、調査書を提出することができない場合は、次によることとします。 指導要録の保存期間の経過及び廃校、被災その他の事情により、出身学校長の調査書が得られない場合は、 <u>(ア)卒業(見込)証明書に加えて(イ)単位修得証明書又は成績通信簿の写し等の入学志願者が提出できる書類</u> をもって調査書に代えます。 なお、(イ)の書類を提出できない場合は、(ア)及び出身学校長が作成した、単位修得証明書の発行ができない旨を証明する書類を提出してください。

6	入学検定料	① 10,000円を本募集要項添付の払込用紙により金融機関から払い込み、「振替払込受付証明書」に日附印を受けてください。なお、ATM(現金自動預払機)ではなく、必ず金融機関窓口から払い込んでください(払込用紙は2種類添付されているので注意)。 ② 払込手数料は、志願者本人の負担です。 ③ 払い込んだ後、「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」(払込用紙右端)を「4 振替払込受付証明書貼付票」の所定欄に貼ってください。
7	※志望理由書	本募集要項添付の用紙に、志願者本人が自筆で記入してください。
8	在職証明書	出願時点で就業時間が週25時間以上の者は、勤務先の発行する在職証明書(様式自由。志願者の氏名、生年月日、就業時間が明記されたもの。)を提出してください。なお、複数の勤務先で上記の就業時間を満たす場合には、複数の勤務先の証明書を提出してください。 また、出願から入学までの間に上記の就業時間を下回る見込みのある者は「9 就業計画書」をあわせて提出してください。
9	就業計画書	出願時点で就業時間が週25時間未満及び就業していない者は、夜間での修学を必要とする理由及び入学後の就業と修学の両立にむけた計画案(経済面を含む)をA4版1枚程度(様式自由。志願者の氏名を記載すること。)に記載して提出してください。
10	※受験票等送付用封筒	本募集要項添付の封筒(上部に「速達」の印刷がある)に、受験票の受取を希望する住所と氏名を明記し、410円分の切手を貼ってください。
11	※あて名票	合格通知書等の受取を希望する住所と氏名を記入してください。
12	その他	① 日本国籍を有しない者は、市区町村の発行する住民票(在留資格、在留期間及び国籍の記載されたもの)を提出してください。なお、住民登録していない者はパスポートの写し(氏名、生年月日、性別が記載されている箇所)を提出してください。 ② 転校等により複数の高等学校等に在籍した者は、すべての高等学校等の成績がわかるもの(成績証明書など)を提出してください。

(注) ※印の付されたものは、本募集要項に添付しています。

- ・ 出願書類の記入には、黒又は青のペンかボールペンを使用してください。
- ・ 出願書類の誤記の際は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- ・ 出願書類に不備がなかった場合、入試課からの受領の連絡は行っておりません。

1-5. 選抜方法等

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、総合問題試験、面接試験及び出願書類を総合して行います。

ただし、総合問題試験において、特定の科目の点数が基準点に満たない場合は不合格とすることがあります。

選抜期日及び試験内容

選抜期日	時 間	区 分	内 容	場 所
11月18日(火)	10時～12時 (120分)	総合問題 試 験	・ 理数的基礎知識，読解力，作文能力，論理的思考力等を問います。 ・ 課題は英文で与えることがあります。 ・ 数学，物理，英語の内容を含む問題を出題します。	電気通信大学
11月19日(水)	9時30分～	面接試験	志望動機，勉学意欲及び就業の状況等に関する質問を行います。さらに，数学，理科等の基礎学力について試問を行う場合があります。	

(注) 試験内容に関して、本募集要項に記載されている内容以外のご質問には応じません。

1-6. 合格者発表

合格者の受験番号は、本学のウェブサイト (<https://www.uec.ac.jp/>) において「**2025年12月3日(水) 10時00分頃**」から発表日も含めて7日間掲載する予定です。
また、合格者には合格通知書を送付します。

(注) 電話、メール等による可否の問い合わせには一切応じません。

1-7. 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続書類を郵送します。
なお、入学手続の際に「受験票」が必要となりますので、紛失しないよう保管してください。
合格者は、次の期間に郵送により入学手続を行ってください。

- (1) 入学手続期限 **2025年12月16日(火)必着**
- (2) 入学手続書類郵送先 電気通信大学入試課
- (3) 本学への入学手続を完了した者は、他の国公立大学を受験しても合格者となることはできません。特に一般選抜の前期，後期日程試験を受験しても、その合格者とはなりませんので注意してください。(入学辞退を許可された者を除く、「1-8. 入学の辞退」参照。)

1-8. 入学の辞退

合格者の入学辞退は原則認めませんが、特別の事情があり、**2026年2月18日(水)(必着)**までに「入学辞退届(任意の様式)」が電気通信大学長に提出された場合は、入学の辞退を許可することがあります。

なお、「入学の辞退を許可された者」でなければ、出願済の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)を受験しても、合格者とはならないので注意してください。

1-9. 入学科・授業料等

1. 納入金

入学科	141,000 円
授業料(前期分)	133,950 円 (年額 267,900 円)
計	274,950 円

(注1) 上記の金額は、改定されることがあります。

(注2) 入学科・授業料の納入方法及びその他の提出書類等については別途通知します。

(注3) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

2. 上記納入金の他に、諸会費として学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料等があり、補償内容や加入等のご案内は別途通知する予定です。

1-10. 長期履修制度

長期履修制度は、学生が職業を有する等の事情により、標準の修業年限(4 年間)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了する制度です。

授業料は、標準の修業年限における授業料の総額と同額を、認められた長期履修期間の年数で除した額をそれぞれの年にお支払いいただきます。長期履修期間の上限は最長で 8 年間(最長在学期間)です。申請は入学手続き時のほか在学中に行うこともできます。

詳細については、事前に教務課学域教務係(Tel042-443-5076)までお問合せください。

1-11. 出願・受験に当たっての注意事項

1. 選考の結果、不合格となった場合に、本学が実施する一般選抜の受験を希望する者は、次のことに留意してください。
 - (1) あらかじめ大学入学共通テストに出願し、本学が指定する「受験を要する教科・科目」を受験しなければなりません。(令和 8 年度大学入学共通テストの出願期間は、2025 年 9 月 16 日(火)から 10 月 3 日(金)まで)
 - (2) 一般選抜学生募集要項を参照のうえ、所定の出願手続きを行ってください。
2. 納入済の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - (1) 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
 - (2) 検定料を振り込んだが出願書類が受理されなかった場合
 - (3) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

(注1) 返還にかかる振込手数料は、請求者の負担となりますのでご了承ください。

(注2) 返還の手続きについては、(2) は入試課から志願者本人に連絡します。

(1) (3) は、以下のウェブサイト参照の上、「納入済検定料返還請求書」を作成し、財務課出納係へ 2025 年 11 月 14 日(金)までに郵送または電子メールでお送りください。 また、「振替払込受付証明書」を必ず添付してください。



検定料の返還についてのページ

http://zaimu.office.uec.ac.jp/www/zaimu/kenteiryohennkan/kenteiryohennkann_top.htm

3. 出願書類の受理後は、記載事項等の変更及び出願書類の返還は認めません。
4. 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
5. 出願書類の記載事項と相違する事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
6. 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、総合型選抜(夜間主コース)の合格及び入学手続き等に関する個人情報が独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されますのでご了承ください。

2. 情報理工学域 先端工学基礎課程（夜間主コース） 「特別編入学」

2-1. 情報理工学域について

情報理工学域には、昼間の授業を履修する3つの類と夜間を主とした授業を履修する1つの課程を設けていますが、「先端工学基礎課程（夜間主コース）」は他の3つの類と同じ4年の修業年限で、同程度の授業内容を履修し卒業できるように工夫されています。

特別編入学にあっては、出身学校で履修した科目の単位は、本学で審査の上、本学に開設する授業科目の修得単位として一定の単位数まで認定されます。

出身学校における専門分野が編入学する課程の教育内容と異なるなどにより、認定される単位が少なくなることがあります。
その場合、入学後に履修する科目が非常に多くなり、2年で卒業することができなくなります。

2-2. 募集人員

	課 程	募 集 人 員
情報理工学域	先端工学基礎課程(夜間主コース)	3 名

2-3. 編入年次

3年次とします。

ただし、認定される単位が少ないと、2年で卒業することができなくなります。

編入学後の履修については、「2-13. 編入学後の履修等について」を参照してください。

2-4. 出願資格

次のいずれかに該当する者で、出願要件を満たす者

- (1) 高等専門学校又は短期大学を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
- (2) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上でかつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上のものに限る。)を修了した者及び2026年3月修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (3) 大学を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
- (4) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月修了見込みの者
- (6) 大学(前号の教育施設を含む。)に2年以上在学(2026年3月までに2年以上の在学となる者を含む。)し、64単位以上を修得(見込みを含む。)した者
- (7) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科(修業年限が2年以上のものに限る。)を修了した者及び2026年3月修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

- (注1) 上記の高等専門学校、短期大学、専修学校、高等学校等及び大学は、学校教育法(昭和22年法律第26号)により定められたものに限り、**(※各省庁設置の大学校からの編入学は認められません。)**
- (注2) 大学に在学中の者は、在籍したまま受験することができます。ただし、3月末日までに当該大学の退学証明書を必ず提出してください。
- (注3) 出願資格(6)において、所定の単位を修得見込の者が、2026年3月までに修得できなかった場合には、**入学許可を取り消します。**
- (注4) この選抜に出願する者は「先端工学基礎課程で実施する総合型選抜」への**出願はできません。**
- (注5) 外国人留学生は先端工学基礎課程(夜間主コース)に出願できません**(夜間主コースの場合、在留資格「留学」は取得できません。)**

2-5. 出願要件

本課程は原則として夜間の修学を希望する週25時間以上の就業を行う社会人(正規・非正規等の雇用形態は問わない)を対象としますが、社会人以外でも、夜間の修学を必要とする者には出願を認めます。夜間の修学を必要とする理由としては、たとえば、経済的事情などが挙げられます。

2-6. 出願手続

(1) 出願期間

2025年11月4日(火)から11月6日(木)まで (11月6日(木)必着)

(注)郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。

(2) 出願書類等

以下の書類一式を取りそろえ、本募集要項添付の封筒を用いて、簡易書留郵便で出願期間内に必ず到着するよう郵送してください。郵送以外は受け付けませんので注意してください。

出願書類		注 意 事 項
1 2 3	※入学志願票 ※写真票 ※受験票	①本募集要項添付の用紙に必要事項を記入してください。 ②上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm)を写真票及び受験票の指定欄に貼ってください。なお、写真の補正は行わないでください。
4	※振替払込受付 証明書貼付票	金融機関の日附印が押印されている「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」を所定欄に貼ってください(9.「入学検定料」を参照)。
5	成績証明書	出願資格となる出身学校が作成の上、 厳封 してください。 (注)証明書は原本を提出してください。
6	卒業・修了(見込) 証明書	出願資格となる出身学校が作成し、提出してください(出願資格(6)の者を除く。) (注)証明書は原本を提出してください。
7	在学(期間)証明書	出願資格(6)による出願に該当する者は、出願資格となる出身学校が作成したものを提出してください。 (注)証明書は原本を提出してください。
8	修得見込単位を 示す書類	出願資格(6)による出願に該当し、出願時点での修得単位が64単位未満の者は、現在履修中及び履修予定の科目について、科目名と単位数が分かる書類(単位修得(見込)証明書、シラバスのコピー等)を提出してください。

9	入学検定料	① 18,000円を本募集要項添付の払込用紙により金融機関から払い込み、「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」に日附印を受けてください。なお、ATM(現金自動預払機)ではなく、必ず金融機関窓口から払い込んでください(払込用紙は2種類添付されているので注意)。 ② 払込手数料は、志願者本人の負担です。 ③ 払い込んだ後、「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」(払込用紙右端)を「4 振替払込受付証明書貼付票」の所定欄に貼ってください。
10	※志望理由書	本募集要項添付の用紙に、志願者本人が自筆で記入してください。
11	在職証明書	出願時点で就業時間が週25時間以上の者は、勤務先の発行する在職証明書(様式自由。志願者の氏名、生年月日、就業時間が明記されたもの。)を提出してください。なお、複数の勤務先で上記の就業時間を満たす場合には、複数の勤務先の証明書を提出してください。 また、出願から入学までの間に上記の就業時間を下回る見込みのある者は「12 就業計画書」をあわせて提出してください。
12	就業計画書	出願時点で就業時間が週25時間未満及び就業していない者は、夜間での修学を必要とする理由及び入学後の就業と修学の両立にむけた計画案(経済面を含む)をA4版1枚程度(様式自由。志願者の氏名を記載すること。)に記載して提出してください。
13	※受験票等送付用封筒	本募集要項添付の封筒(上部に「速達」の印刷がある)に、受験票の受取を希望する住所と氏名を明記し、410円分の切手を貼ってください。
14	※あて名票	合格通知書等の受取を希望する住所と氏名を記入してください。
15	その他	① 出願資格(7)による出願の者は、高等学校等が発行する修業年限2年以上で、かつ、文部科学省告示第63号又は第64号の基準を満たす課程を修了(見込)したことを証明する証明書を提出してください。 ② 日本国籍を有しない者は、市区町村の発行する住民票(在留資格、在留期間及び国籍の記載されたもの)を提出してください。なお、住民登録していない者はパスポートの写し(氏名、生年月日、性別が記載されている箇所)を提出してください。 ③ 転校等により複数の高校学校等に在籍した者は、すべての高校学校等の成績がわかるもの(成績証明書等)を提出してください。

(注) ※印の付されたものは、本募集要項に添付しています。

- ・ 出願書類の記入には、黒又は青のペンかボールペンを使用してください。
- ・ 出願書類の誤記の際は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- ・ 出願書類に不備がなかった場合、入試課からの受領の連絡は行っておりません。

2-7. 選抜方法等

入学者の選抜は、総合問題試験、面接試験の結果及び出願書類を総合して行います。

ただし、総合問題試験において、特定の科目の点数が基準点に満たない場合は不合格とすることがあります。

選抜期日及び試験内容

選抜期日	時 間	区 分	内 容	場 所
11月18日(火)	10時～12時 (120分)	総合問題 試 験	・ 理数的基礎知識，読解力，作文能力，論理的思考力等を問います。 ・ 課題は英文で与えることがあります。 ・ 数学，物理，英語の内容を含む問題を出題します。	電気通信大学
11月19日(水)	9時30分～	面接試験	複数の面接委員による個人面接を行い，志望動機，勉学意欲，自己表現能力，理工系の基礎学力などについて評価します。	

(注) 試験内容に関して、本募集要項に記載されている内容以外のご質問には応じません。

2-8. 合格者発表

合格者の受験番号は、本学のウェブサイト(<https://www.uec.ac.jp/>)において

「**2025 年 12 月 3 日 (水) 10 時 00 分頃**」から発表日も含めて7日間掲載する予定です。

また、合格者には合格通知書を送付します。

(注) 電話、メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

2-9. 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続書類を郵送します。

なお、入学手続の際に「受験票」が必要となりますので、紛失しないよう保管してください。

合格者は、次の期間に郵送により入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期限 **2025 年 12 月 16 日(火)必着**

(2) 入学手続書類郵送先 電気通信大学入試課

2-10. 入学料・授業料等

1. 納入金

入学料	141,000 円
授業料(前期分)	133,950 円 (年額 267,900 円)
計	274,950 円

(注1) 上記の金額は、改定されることがあります。

(注2) 入学料・授業料の納入方法及びその他の提出書類等については別途通知します。

(注3) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

2. 上記納入金その他、諸会費として学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料等があり、補償内容や加入等のご案内は別途通知する予定です。

2-11. 長期履修制度

長期履修制度は、学生が職業を有する等の事情により、標準の修業年限(2年間)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了する制度です。

授業料は、標準の修業年限における授業料の総額と同額を、認められた長期履修期間の年数で除した額をそれぞれの年にお支払いいただきます。長期履修期間の上限は最長で4年間(最長在学期間)です。申請は入学手続き時のほか在学中に行うこともできます。

詳細については、事前に教務課学域教務係(Tel042-443-5076)までお問合せください。

2-12. 出願・受験に当たっての注意事項

1. 出願書類を受理したときは、受験票を郵送します。
2. **納入済みの検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。**

- (1) 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
- (2) 検定料を振り込んだが出願書類が受理されなかった場合
- (3) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

(注1) 返還にかかる振込手数料は、請求者の負担となりますのでご了承ください。

(注2) 返還の手続きについては、(2)は入試課から志願者本人に連絡します。

(1)(3)は、以下のウェブサイトを参照の上、「納入済検定料返還請求書」を作成し、財務課出納係へ、2025年11月14日(金)までに郵送または電子メールでお送りください。
また、「振替払込受付証明書」を必ず添付してください。

検定料の返還についてのページ

http://zaimu.office.uec.ac.jp/www/zaimu/kenteiryohennkan/kenteiryohennkann_top.htm



3. 出願書類の受理後は、記載事項及び出願書類の返還は認めません。
4. 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
5. 出願書類の記載事項と相違する事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

2-13. 編入学後の履修等について

1. 編入学後の修業年限、卒業資格及び学位

卒業には学域に2年以上在学(最高在学期間は4年で、その期間には休学期間は含まれません。)し、出身学校で修得した単位のうち本学が認定した単位を含めて、「3. 編入学後の履修単位の認定基準」に示した単位数以上修得しなければなりません。なお、卒業生には学士の学位が与えられます。

2. 編入学後の履修について

学域3年次に編入しますが、編入学後は課程で定めるカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得しなければなりません。

なお、卒業までに修得すべき単位と編入学の際に認定される単位は「3. 編入学後の履修単位の認定基準」のとおりです。この表は単位認定の上限を定めたもので、各人に対する認定は、出身学校における履修授業科目、成績証明書に記載された成績を考慮して行いますが、出身学校における単位の修得状況によっては、認定しうる単位が限定される場合があります、2年で卒業できないことがあります。

合格後の単位認定に関する通知をよく読み、十分な認定を受けられるよう適切に手続きを行う必要があります。

3. 編入学後の履修単位の認定基準

履修単位の認定基準については、以下のウェブサイトから「令和6年度 学修要覧」の28ページを確認してください。

<https://kyoumu.office.uec.ac.jp/youran/youran.html>



2-14. 大学院(博士課程)

本学では、情報理工学研究科博士前期課程(修士)及び博士後期課程(博士)を設けています。

3. 教員免許状

本学域において、教育職員免許法に基づき、所要科目の単位を修得し卒業(学士の学位を取得)した場合には、次表の免許状が取得できます。

なお、特別編入学生が教員免許状取得を目指すにあたっては、認定された科目・単位の使用に制限があるので、4月上旬頃に開催する「教職課程ガイダンス」に必ず出席してください。

情報理工学域 先端工学基礎課程において取得できる教員免許状

課程 \ 免許状の種類・教科	高等学校教諭1種免許状			中学校教諭1種免許状	
	数 学	理 科	情 報	数 学	理 科
先端工学基礎課程(夜間主コース)	○			○	

4. 障害のある者等の出願

障害のある者等で、受験上特別な措置及び入学後修学上特別な配慮を必要とする者は、**2025年9月12日(金)**までに入試課に相談してください。ただし、期限について、緊急の場合はこの限りではありません。なお、相談の内容によっては、試験までに対応できず、特別措置による受験ができないことがありますので、なるべく早く相談してください。

5. 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人電気通信大学個人情報保護規程」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学選抜(出願処理、選抜実施)、合格発表、入学手続業務およびこれに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学選抜に用いた試験成績等の情報は、個人が特定されないかたちで、今後の入学選抜方法の調査・研究、分析および広報活動の検討資料の作成のために利用することがあります。
- (3) 上記(1)および(2)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。その場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲内で、保有する個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
- (4) 入学者の個人情報については、①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

6. 入学試験の個人成績の開示について

総合型選抜(夜間主コース)及び特別編入学(夜間主コース)の個人成績を受験者本人に限って開示します。具体的な申請期間、申請方法、開示内容等については、本学ウェブサイトに掲載いたしますので、以下のページをご確認ください。

<https://www.uec.ac.jp/education/undergraduate/admission/result.html>



7. 2025 年度先端工学基礎課程入学試験実施結果

1. 総合型選抜

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
30	42	42	34

2. 特別編入学

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
3	7	7	3

【問い合わせ先一覧】

問い合わせ内容	担当（連絡先）
入学試験に関する質問	入試課入学試験係 (042-443-5103)
入学料・授業料に関する質問	財務課出納係 (042-443-5040)
学生生活全般に関する質問	学生課学生係 (042-443-5087)
入学料・授業料免除および 奨学金制度に関する質問	学生課経済支援係 (042-443-5089・5090)
学生宿舎・寮に関する質問	〔入寮申込について〕 学生課課外・厚生係 (042-443-5085) 〔その他〕 UEC Port 管理人室 (「学生宿舎・寮」管理人室) (042-429-3170)

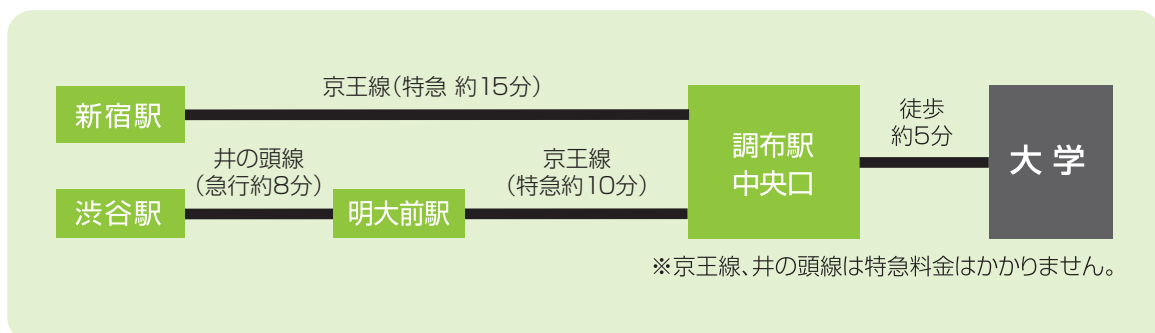
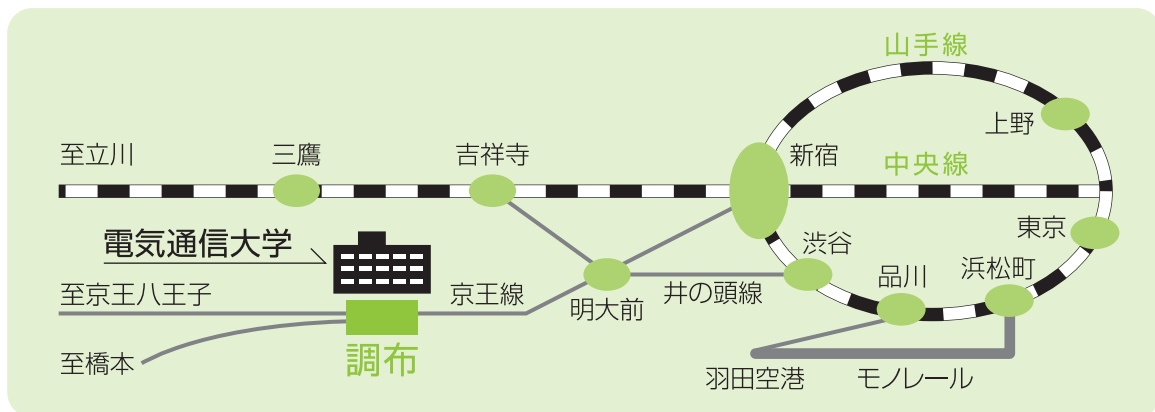
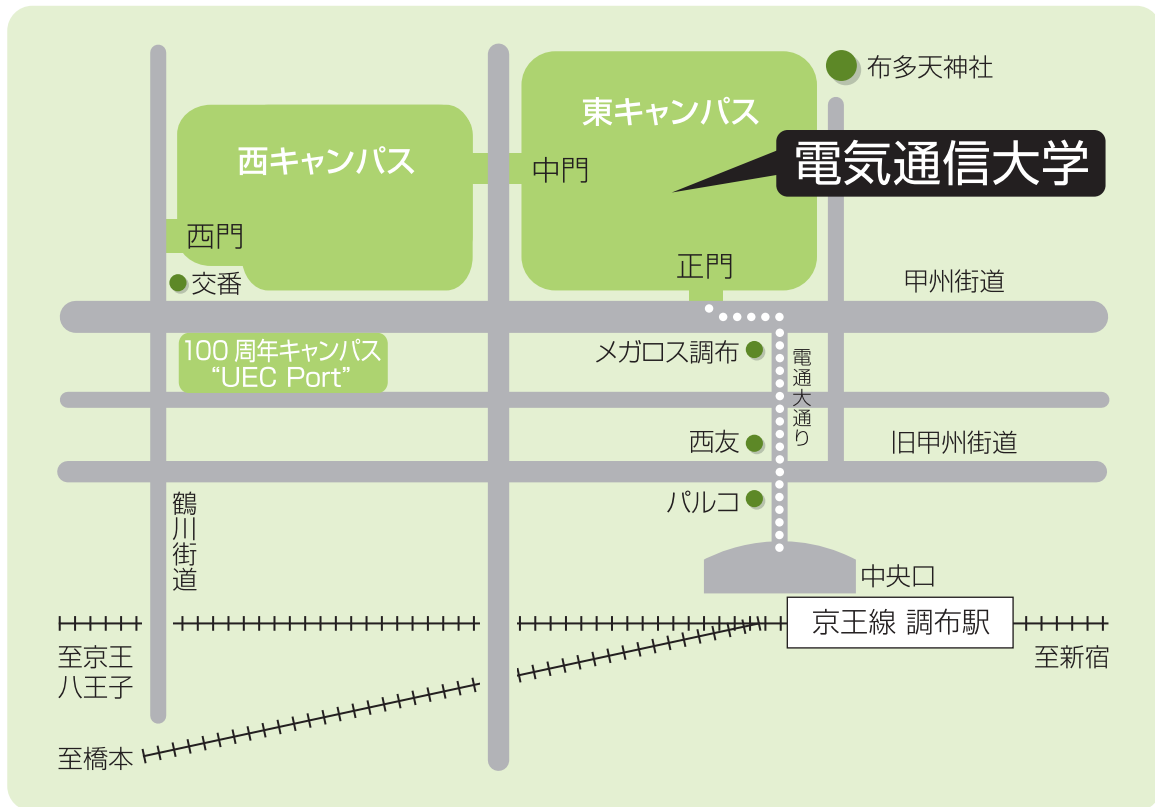
- ・ 電気通信大学ウェブサイト
<https://www.uec.ac.jp/>



- ・ 入試情報
<https://www.uec.ac.jp/news/admission/>



電気通信大学への案内図



電気通信大学 入試課

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

TEL:042-443-5103

E-mail open-camp@office.uec.ac.jp

<https://www.uec.ac.jp/>